



それが、子供のころから外活動にも採用、全日本選手何の取り柄もなかったが、実権には海外からも参加者がいはチャンバラだけは、免許留る。うーん、おもしろいし伝、でござい。チャンバラ、なれど拙者も幼少のみきラといき侍書はメンコ、ビーりより、近所の悪童を……、玉と並ぶ子供のたしなみ。それが最近、復権してきたこのので妙に血が騒いできた。で、これから「道場破り」に出かけようと思つたが、さちも同道せぬか。案ずるな。

平成退屈男、このわしがついておる、ガハハハ。

「頼むし」。ほう、盛況じやのう。貴殿が道場主で。田辺哲人スポーツチャンバラ協会会長、聞きなれぬ流派じゃ。「既成の武道にとられず、自由によろ」と、七三年に協会を興し今では門弟三万人。最近では幼稚園や中学校が課

チャンバラ復権



無手勝流が快感

ルはこを切らちが、先に切つた方が勝ちと単純じゃ。最初の相手は白髪まじりの会社員。定年が迫り「この年で何もしなかつたら老化する一方」と門をたたいた。家でも腕立て伏せを欠かさず「手加減されるならやめる」。その一徹ぶり、大久保彦左衛門殿ではないのか。そっちの女

むむ、その動き、たが者ではないとみた。おお、この師範代でござったか。本業はパイロットで「チャンバラ遊びの中で、護身感覚、を身に付けて欲しい」となるほど、異国の地で会う日本の若者が妙にふやけて見える。外国で犯罪に遭う数が急増しているのも余りに無防備なせい。子供のころから大人に守られ過ぎて「皮膚」で危険を察知する能力が衰えている。チャンバラがその衰えを防ぐ、助になればというわけですね。安穩な暮らしの中で情弱の風がはびこる。そういえば初代退屈男も直参旗本の太平楽を唄いておった……。

え、能書きは抜き、即実戦。子中学生は「ん」志願かな。「受験勉強でむしゃくしゃしたら、人をひっぱたくのが「ラスチックのしんにスポシ」番」。物騒じやのう。それにしても規則やフォアのくびきから解放されるつえ、なきなたもあり、ルーと、人間てのは実にイキキ

写真 山口 朋秀
文 武智 幸徳